

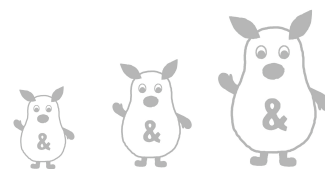
幼・保育園、小・中学校子ども会ほか団体関係者の皆さまへ



令和4年度 東山動植物園

環境教育プログラム

(植物園編)



植物1

園児・小学生

講義・実習

植物入門コース

空飛ぶタネを飛ばそう

所要時間	30～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内容	タンポポやカエデ類など、風に乗って遠くへ移動し子孫を増やすタイプの種子があります。 実際にこれらの種子を飛ばしたり、グライダー発明のヒントになったアルソミトラの種子の実物を見た後に模型を作ってみんなで飛ばしたりすることで、楽しみながら植物の繁殖戦略について学びます。	
備考	出前講座としても対応しています。	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物2

園児・小・中学生

講義・実習

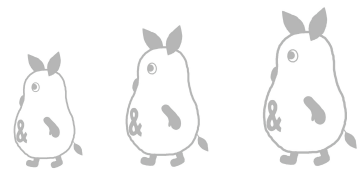
植物入門コース

ひがしやま植物実験室

所要時間	15～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内容	観察や実験を通して植物の不思議を体験します。 ・顕微鏡や虫めがねで、植物のミクロな世界を覗く	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園		
	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物3

園児・小学生

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

ドングリ博士になろう

所要時間	15～30 分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40 名
実施可能時期	10～11 月（開園日）
用意が必要なもの	
内容	ドングリとはブナ科植物の実の総称です。ひとくちにドングリといっても様々な種類があり、植物園ではアベマキなどを中心に 10 種類以上のドングリを見ることができます。実物に触れながら、ドングリのつくりや見分け方などを学びます。
備考	秋の遠足時におすすめです。どんぐりの見分け方表プレゼント



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/
	TEL : 052-782-2111 FAX : 052-782-2140 E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物4

園児・小学生

実習

植物をもっと深く学ぶ

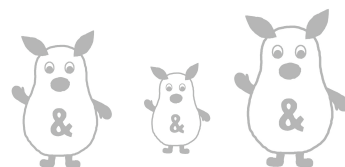
植物の標本づくり

所要時間	40～60 分
開催場所	東山植物園（植物会館）
募集人員／回	10～40 名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具（サインペン、標本を持ち帰る袋など）
内容	植物を厚紙に貼って、名前を書きだけで、素敵な標本が出来上がります。様々な木の実などを見て、触れることにより、ふだん気がつかなかった植物のかたちのおもしろさ、多様性を知ることができます。
備考	子ども会の行事におすすめです



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/
	TEL : 052-782-2111 FAX : 052-782-2140 E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物5

小・中学生

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～いろいろな葉っぱ～

所要時間	15～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	6～11 月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の重要な器官である『葉』に注目し、その機能や、植物の種類によって形、厚さ、縁の様子が異なることや、変わった性質をもつ葉があることなどを、実物を観察しながら学びます。	
備考	春から夏におすすめです	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物6

小・中学生

講義・実習

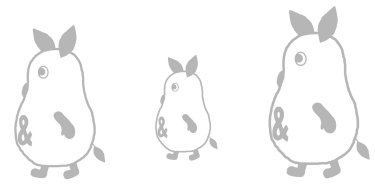
植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～食虫植物～

所要時間	30～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	6～11 月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の世界には、昆虫を捕らえて、私たちの胃袋のように消化液を出して分解・吸収して、それを栄養として生きている植物がいます。昆虫の捕らえ方は植物によっても様々。葉を変形させて昆虫をはさんだり、ツボに落としこんだり、また、ねばねばの粘液を出したりして昆虫をくっつけたりします。植物園の食虫植物コレクションを紹介します。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物7

小学生(3～6年)、中学生

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～花の多様性～

所要時間	30～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	6～11 月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の花は、子孫を残すのに不可欠な種子を作るための受粉を行うことを目的に存在しています。花には様々な色や形がありますが、それは、昆虫や鳥などを誘ったり、受粉を確実に手伝ってもらうための工夫の中で生まれた多様性です。植物園保有のコレクションを紹介しながら、花の不思議について学びます	
備考	春の遠足時におすすめです。	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園		
	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物8

小学生(3～6年)、中学生

講義・実習

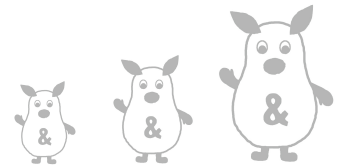
植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～植物を支える根の働き～

所要時間	30～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の重要な器官である『根』に注目し、環境に対応した様々な形態や機能を学びます。地中にまっすぐ伸びる根から空気中にぶら下がって水分を吸収する根、体をしっかり支えるよう地上に張り出した根など、植物園保有の様々なコレクションを紹介しながら学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園		
	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物9

小学生(3～6年)

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～つる植物の生きる力～

所要時間	30～60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	6～11月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の重要な付属器官である『つる』に注目して観察します。つる植物には、アサガオやツルレイシのように、身近なものが多くあります。つるの形態（付着型、まきひげ型、吸盤型など）を中心に、圧倒的な成長力を見せるつる植物の生きるための戦略を学びます。	
備考	植物体の生育状況により、講習が行えないことがありますので、事前にご相談ください。	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園		
	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物10

小・中学生

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～種子のぼうけん～

所要時間	30～90 分	種子が散布される主な方法 □ A： 風によって □ B： 水に流されて □ C： 動物にくっついて □ D： 動物に食べられて □ E： 動物に持ち運ばれて □ F： アリに運ばれて □ G： はじけ飛んで 
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	ふだん動けない植物が、子孫を増やすため、種子は様々な工夫をしています。風に乗ったり、水に流されたり、動物にくっついたり、自分ではじけたり。気がつくと私たち人間までもが種子の運搬を担っている事も。種子散布を通して、植物の生きる力、工夫を学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園		
	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物11

小学生(3～6年)

講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～冬の植物の姿～

所要時間	30～90分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	1～2 月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	冬の植物園をじっくり観察し、春に花や葉となる大切な芽を守る工夫や、落葉樹の樹形の美しさ、樹肌、葉を落とした痕のおもしろさなど、この時期にしか観察できない、植物が寒い季節を乗り切る知恵を学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL：052-782-2111	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物12

小学生(2年)以上

講義・実習

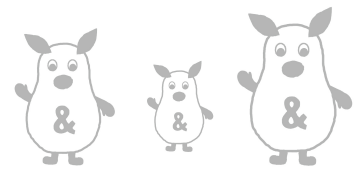
植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～植物と昆虫の関係～

所要時間	30～60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	6～10月（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	花粉を運んでくれるハチ、カタクリやスミレの種子を運んでくれるアリなど、植物と深く関わりを持って暮らす昆虫たち。そんな昆虫と植物の様々な関係や、いろいろな生き物が、利用したり、利用されたり、お互いに支え合ったりする関係を学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL：052-782-2111	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物13

小学生(3年)以上

講義・実習

植物と環境について学ぶ

東山の森を知ろう

所要時間	30～90 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記道具	
内容	東山にある身近な植物について学ぶことにより、自分の周りの環境について考える機会になります。植物園内にある植物の枝や木の実など、実際に植物に触れながら観察します。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

小・中学生

講義・実習

植物と環境について学ぶ

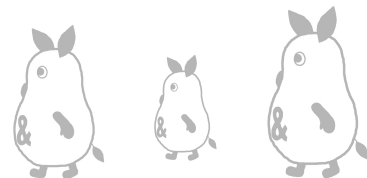
植物14

学校の樹木マップを作ろう

所要時間	90 分	
------	------	--

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物15

小学生(3年)以上

講義・実習

植物と環境について学ぶ

植物の不思議を知ろう ～サボテンの多様性～

所要時間	30～60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～20 名	
実施可能時期	通園（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物園の中南米産植物温室に入ると、金鯪（キンシャチ）を始め、いろいろなサボテンが迎えてくれます。サボテンと言ってもその形態は実に様々です。同じ仲間でありながら、生育環境によってそれぞれ姿を変えてきたサボテン。その多様性を学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物16

小学生(3年)以上

講義・見学

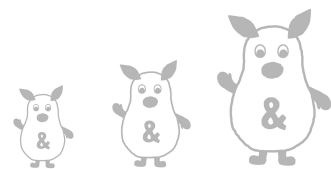
植物園を知る

植物園のしごと

所要時間	60 分	
開催場所	東山植物園（植物会館、園内）	
募集人員／回	10～20 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具、事前に質問がある方は、質問事項を送付してください。	
内容	植物園が、植物の展示育成を通して行っている様々な仕事を紹介します。また、植物園が担っている役割について学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物17

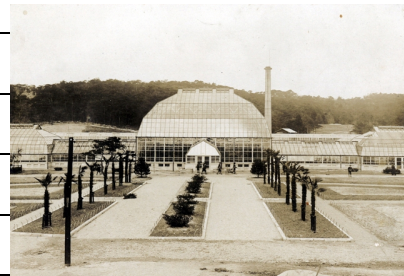
小・中学生

講義・実習

植物園を知る

植物園80年の歴史を知ろう

所要時間	60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	
内容	昭和12年（1937年）3月3日に開園した歴史ある東山植物園の誕生物語。どのような想いで東山植物園は作られたのか。わかりやすく解説します。
備考	写真：昭和13年当時の植物園



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/	
	TEL：052-782-2111	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物18

小学生(3年)以上

講義・実習

植物と暮らし

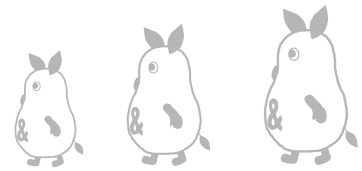
暮らしに役立つ植物の力

所要時間	30～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	6～10月（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	私たちの暮らしの中には、植物の形からヒントを得て作られたものや、植物がもつ様々な部位や成分を暮らしに役立てているものがあります。私たちの暮らしを支えてくれる植物の力について、植物園で見ることができるものを中心に紹介します。
備考	



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/	
	TEL：052-782-2111	FAX：052-782-2140	E-mail：higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp



植物19

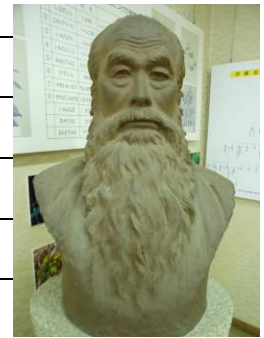
小学生(3年)以上

講義・見学

伊藤圭介を知ろう

名古屋が生んだ植物学者 「伊藤圭介」

所要時間	30～60 分
開催場所	東山植物園（植物会館、伊藤圭介記念室、園内）
募集人員／回	10～20 名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	江戸末期から明治時代に活躍した日本を代表する植物学者「伊藤圭介」について学びます。伊藤圭介は日本で初めて「おしべ」「めしべ」「花粉」などの言葉を使ったことで有名です。またイワナンテン（学名 <i>Leucothoe keiskei</i> ）など、多くの植物の学名に伊藤圭介の名前がついています。植物会館内にある伊藤圭介記念室での解説や園内にある伊藤圭介にちなんだ植物について紹介します。
備考	



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物20

中学生

講義・見学

東海地方の植物

絶滅危惧種《東海地方を中心とした》 と私たちの身近に起こっていること

所要時間	60～90 分	東山植物園で見ることができる 絶滅危惧植物 春  絶滅危惧旧種 マメナシ (バラ科)
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40 名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	現代は、多くの動植物の絶滅が心配されています。私たちの住む東海地方で代表的な絶滅危惧種はシデコブシ、マメナシ、シラタマホシクサなどです。絶滅危惧種を守るための植物園での取り組みを紹介するとともに、身近な視点から、絶滅を防ぐ必要性和私たちにできることについてみんなで考えます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp